

# 子どもの栄養改善 1000 日アプローチプロジェクト 2020 年度報告書

(認定特活) シェア＝国際保健協力市民の会

## <プロジェクト概要>

地域: プレアヴィシア州トゥバエンミエンチェイ郡保健行政区の 4ヶ所の保健センター管轄区(39 村)

直接対象者: トゥバエンミエンチェイ郡保健行政区の 4ヶ所の保健センターとそのスタッフ 48 名、保健ボランティア 80 名、自治体女性子ども委員会(州、郡およびコミュン各レベル)11 名、計 131 名

間接対象者: 上記 4ヶ所の保健センター管轄区の 2 歳未満の乳幼児約 1,100 名とその養育者、および妊産婦 890 名

プロジェクト目標: コミュニティでの子どもの健康増進活動定着により、2 歳未満児の栄養状態が改善される。

## 1. カンボジアにおける新型コロナウイルスの影響とシェアの活動

2020 年当初は新型コロナウイルスの感染者は入国者ケースのみに限られていたが、2020 年 11 月から市中感染が確認されるようになり、集会や移動の制限がされるようになった。現在、首都のプノンペンをはじめ、一部の地域でロックダウンが行われている。(感染者: 9426 人 死者: 61 人)

シェアは 2020 年 1～2 月に州保健局と共同してコロナの注意喚起を実施。また、6 月と 11 月の 2 回にわたり保健センターへのマスクや消毒液などの物資支援を行った。



## 2. 乳幼児健診

- ・ 6 月よりカンボジアは段階的に活動制限が緩和されてきたが、州保健局からはシェアに「乳幼児健診は非常に大切な活動であるため、早期の再開のサポートをしてほしい」という依頼があった。
- ・ 対象村のうち、39 村において 37 村で 1 回以上は乳幼児健診の実施ができた。
- ・ 7 月以降に通常活動を再開してからの乳幼児健診については、使用器具や参加者へのアルコールでの手指消毒を実施しての対策措置を講じながら活動を行った。

## 3. 保健教育

- ・ 乳幼児健診の際に合わせて実施している保健教育において、コロナでの注意喚起や低体重児は感染した際の重症化のリスクが高まるため、十分な栄養を摂取することの重要性を強調した。

